



<校訓>

敬愛 自主 剛健

未来橋

令和7年2月

高浜町立高浜中学校

Takahama Junior Highschool



互いに育ち合う機会

「啐啄（そったく）の機」という言葉があります。これは卵から生まれ出ようとするヒナが内側から殻をつつくと、それを感じた親鳥が外側からつつき、タイミングが合ったときに、殻が割れてヒナが誕生する様子を表しています。

人と人の出会いにも、これに似たところがあり、互いの呼吸や気持ちが通じ合うことで「互いに育ち合う」関係へと発展していきます。

同様に、生徒たちが地域の方々と出会い、その思いに触れる体験学習は、学校では得られない貴重な学びの機会となっています。



ひな壇飾りのボランティア(高浜町文化会館)

大人の姿や思いにふれる学び

中学生の時期は、「何のために学ぶのか」「自分には何ができるのか」と思い悩むことが多い時期です。そこで、学校では地域ボランティア活動を支援し、探究学習やふるさと学習を計画することで生徒のキャリア形成を促進しています。また、職場体験学習やゲストティーチャーの招へい、地域の方々との交流を通して、社会人として必要な知識や技能を育むとともに、ふるさとの魅力や課題に気づき、地域に貢献しようとする態度の育成をめざしています。

生徒からは、「高浜の自然や歴史について初めて知り、そのよさを学ぶことができました。」「町のために一生懸命に頑張っている人に接すると、とても魅力的に感じます。」といった感想が寄せられています。

また、自分の考えを受け入れてもらい、活動

を支援してもらおう中で、「ありがとう。助かったよ。」「エネルギーをもらった。元気が出るわ。」と励まされることが生徒たちのやりがいにつながっています。そうした経験を通じて、「やってよかった。次はもっと良い活動にしていこう。」と意欲を高めています。

地域に見守られ成長する生徒たち

熱心にボランティア活動に取り組み、全校生にも参加を呼びかけている生徒は、「活動してみると、とても楽しいし、一緒に取り組む中で、人の温かい気持ちから学ぶことが多いです。もっとたくさんの人にボランティアの楽しさや喜びを知ってほしいです。将来は、人の役に立ち、人を笑顔にできる仕事に就きたいので、卒業後はそのための勉強をしたいです。」と語っています。この生徒のように、地域での社会体験を通して将来を展望し「学ぶことの意義」を見い出している生徒も少なくありません。

文部科学大臣優良校表彰

このたび、本校が地道に積み重ねてきた地域との連携・協働による取り組みが評価され、文部科学大臣よりキャリア教育推進の優良校に選ばれました。



第17回キャリア教育優良団体表彰式(東京都)

地域の皆さまの応援に支えられ、生徒たちは様々な経験を通じて力を伸ばしています。改めて感謝申し上げますとともに、今後も地域の宝である生徒たちを温かく見守り、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

命に関する学習講座・保健委員会企画の集会



命の講演会(たきざわ助産院助産師)



救急救命法講習(若狭消防組合)



感染症予防保健集会(保健委員会)

主な学習活動、主体的な活動



GTEC(英語4技能検定)



eスポーツ体験会の運営(町文化会館)



ダンス発表大会(3年)



探究学習発表会(2年)



新入生体験入学の運営(1年)



ハンセン病に関する人権講座
(ヒューマンサークル&高浜公民館)

じゃまねえ 「蛇馬姉会」、「H11卒業生」の皆さまからの寄贈品

85インチ大型モニター



リラックスチェア(1)、衝立(2)、椅子(3)、円卓(1)



今年、還暦を迎えられる卒業生(蛇馬姉会)の皆さまから、本校最大の「85インチモニター」をご寄贈いただきました。また、初老を迎えられる卒業生(平成11年度卒業生)の皆さまからは、新設するリラックススペース用の「椅子、円卓、衝立」をご寄贈いただきました。これらの贈り物を末永く大切に活用させていただきます。

皆さまの母校への温かいご支援に対し、心より感謝申し上げます。